

太陽より熱い存在

キムヘラン

先週、友達と一緒に大阪人権博物館というところへ行ってきた。日本における差別問題についての様々な資料がある。て、いろんな情報を得ることが出来る場所だ。た。

博物館の資料を見て、差別を受ける理由とその程度が私が考えてたより随分様々で驚いた。そしてこういう差別に関して一番疑問だ。たのは差別を受ける理由が全然論理的ではないということだ。もちろんどんな理由でも差別はしてはいけないことだが、被害者から不利益を受けているわけでもないのにただ「何となく」という理由で差別をしている人がいるということはどうしても理解できない。そしてこういう「何となく」の理由で差別されるなら、加害者だ。た人も被害者なる可能性があるということだ。被害者になってから差別の不条理に気付いて反省しても遅いのではないか。これにまだ気づいていない人がい

るせいか、人権博物館の中には随分古い資料  
に載っていたが、今でも解決できていないま  
まの差別がけ、こうあった。  
まだまだ先は遠いなと思っ、ていたところ、  
博物館で働いているおじさんと出会った。お  
かげで留学生の私たちに難しい日本語を教え  
てくれただけでなく、どの資料がどのぐらい  
貴重なのかについても話してくれて、もっと  
深い理解をすることができた。しかし何より  
も印象深かったことは、この人から聞いた話  
だ。「この間面白いコラムを読んだ。太陽と  
人間、どちらが熱いかについてのコラムだっ  
たんだけど、初めてタイトルを見たときは  
『もちろん太陽の方だろう？ ばかばかしい話  
だな。』」と思っ、ていた。でも、内容を読んでみ  
たらそうでもない話だった。人間の温度36.5  
℃は太陽の質量の中の50キロが出す温度と比  
べたらなんと1万倍も高いっ、ていうことだ。  
考えてみると本当にそうだ。人間は生命エネ  
ルギーを持っ、ているし、いろんな行動ができ

る能力を持っている。でも、そのぐらい熱い  
から気を付けないとだめだ。ただ言葉一言で  
も他人を傷つけることができるから。これだ  
けはこれからこの世を生きる上でよく知って  
おくべきだと思う。こんなにも太陽より熱い君  
たちは何より価値のある、大切な生き物だ。  
でも、それはみんな同じ。いつもここで生き  
ている人達は平等であるってことを忘れな  
いで生きてほしい。」  
とても感銘深い話だった。「人間は太陽よ  
り熱い存在」なんて。思ったより人間という  
存在はすごいのだなと思うようになった。だ  
が、この話の一番大事なところは「私」が太  
陽より熱いということではなく、「あなた」  
も私みたいに太陽より熱い、大切な存在だとい  
うことを認識することだと思う。実はすで  
に私たちは何となく私たち人間の大切さを認  
識しているかもしれない。しかし世界には70  
億人を超える人間が存在しているため、その  
大切さに慣れてしまっているのではないか。

そしてそんなふうになれてしまった人たちは  
他の人々を尊敬することができず、傷つけて  
しまふのだらう。だが、反対にその分いろん  
な人の力になれる存在だと思ふ。傷つけるぐ  
らいの力があつたらう、癒すこともできるかも  
しれない。だから人々が自身の力の強さをよ  
く知つて正しく使へたらう、この世界はもっと  
いい方向に進むはずだと思ふ。

おじさんの話を聞いて、こういう人たちが  
まだ存在するからこそ世界は前よりいい世界  
になつていくのではないかと思ひ、暗くなつ  
ていた心が明るくなつてきた。そして私もこ  
のおじさんのように私以外の人に明るい影響  
を与へることができるようになつてほしいと思  
ふようになった。

そしてこういう人こそ、この博物館で何よ  
りも大切な財産だと思つた。いつも人権につ  
いて考えていたからこそ、こういう話ができ  
たんだらう。この人と出会えなかつたら大阪  
人権博物館は私が行つてみた多くの博物館の

一つに過ぎなかったかもしれない。「大阪に  
留学して様々な博物館に行ってみる」という  
目標を達成する過程でこういう思ってもいな  
かったすごい人と会うことができるとてもう  
うれしい。これから行く博物館でもこの人みた  
いに、博物館の存在価値を高める人々と出会  
えることを期待する。